

Shall I take a message?



によい りん かん のん  
如意輪観音

写真展

# 狭山の石仏 '99

あす  
未来に伝えたい心がある…

平成11年5月22日(土)～6月20日(日)



狭山市立博物館

〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山1-23-1 稲荷山公園(ハイパーク)内  
TEL. 042-955-3804 FAX. 042-955-3811

R40

古紙配合率40%再生紙を使用しています





地蔵菩薩

## 開催にあたって

足の向くまま気の向くままに市内を散歩すると、寺院の入口や四つ辻などで石造のお地藏さまや馬頭観音さまに出会うことがあります。これらはふつう「石仏」と呼ばれていますが、なかには庚申塔や水神など、「石神」としての性格を持つものもあります。

狭山市内には700基余りの石仏がありますが、このうち造立年がわかっているのは603基です。その多くは地藏菩薩や馬頭観音・庚申塔ですが、なかには念仏講と呼ばれる同信者の集団によって建てられた供養塔や、観音霊場を巡拝した記念に建てたもの、また、街道を往来する旅人の便を図るための道しるべなど、その種類は多岐に及びます。

これらの石仏は、江戸時代から明治時代にかけて、その大多数が農民の手により造立されていますが、彼らが石仏を建てたのは目的があつてのことです。その目的は、農作物の豊かな実りを願うものであったり、安産や病氣平癒など多種多様ですが、根本には「現当二世安楽」、つまり「この世とあの世」の二世にわたり、幸せに暮らせる

ことを願うという信仰心から出たものといえます。言い換えれば市内の石仏は、農民の生活の中から生れ出たものなのです。

このたび開催する写真展「狭山石仏'99」は、こうした路傍の石仏に焦点を当て、それを信仰面から分類し、代表的なものを展示することとしました。この中には、残念ながらすでに失われたものもあります。20世紀も終りに近づいた今日、多数の皆様方にご観覧いただき、石仏に対する関心が少しでも深まれば幸いと考えております。

最後になりましたが、本企画展の開催にあたり、ご協力を賜りました関係者各位に心より感謝申し上げ、開催のごあいさつといたします。

平成11年5月

狭山市立博物館

## INFORMATION

### ■開館時間

午前9時～午後5時

### ■休館日

5/24・28・31  
6/7・14

### ■入館料

一般／150円(100円)  
高校生・大学生／100円(60円)  
小学生・中学生／50円(30円)  
※( )内は20名以上の団体

### ■交通

- ・西武池袋線「稲荷山公園駅」から徒歩3分
- ・西武新宿線「狭山市駅」西口からバス(稲荷山公園駅行) 終点徒歩3分

### ■博物館所在地図

